

いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち

広報とえだ

Soeda
Public
Relations



きゅうざすいんごほんぼうていえん
◎旧座主院御本坊庭園特別公開「英彦山庭園の魅力」

英彦山には国の名勝指定を受けている7つの庭園があります。そのうち、英彦山修験道の頂点である座主が居住し、現在九州大学が管理を行い非公開となっている旧座主院の「旧座主院御本坊庭園」と「旧座主院御下屋庭園」の特別見学会が、専門家の解説付きで行われました(9ページに関連記事)。この特別見学会は12月にも行われる予定です。参加を希望する人は、役場まちづくり課歴史文化財係(☎82-1236)まで問い合わせください。

SEP.2022

9

No.731

寺西明男

Akio Teranishi

「面白いまち」づくりを

4期目の寺西町政がスタート

町制施行から11年が経過した添田町。7月17日に行われた町長選挙では、寺西明男町長が4度目の当選を果たしました。今後4年間、引き続き町政の舵を取る寺西町長が4期目への思いを語ります。

8月22日寺西町政 4期目スタート



—— 4期目のまちづくりは、添田町第6次総合計画に掲げる「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」づくりを進めるため、住んでいて安心する「面白いまち」づくりを実践します。

住み続けられるまちへ

未来を見据え 木材利用を促進する

自然環境豊かな添田町。その自然環境をより良くするこ



↑ 8月22日、4期目初登庁。庁舎玄関前で職員の拍手に迎えられ、花束を受け取る寺西町長

とを目的に「やま」の活性化を行います。その為に、添田町の木材の利用を促進します。昨年、協同組合福岡・大川家具工業会と連携し、早生樹センダンの記念植樹を子どもたちの手で行いました。植樹をした子どもたちが大人になる15年・20年後には、この育った樹を使った立派な家具が出来ます。「植える」、「育つ」、「切る」のサイクルが早くなり、山が蘇ります。これからも、このような未来を見据えた取り組みを行っていきます。

安心して子育ての できる環境を

子育て支援の充実は、4期目の大きな課題です。子育て世代包括支援センターなどでの相談体制の充実を図り、仕事と子育ての両立を支援していきます。保育料の軽減、子育て応援リユースなど、子育て家庭を経済的に支援していきます。

添田町で、子どもを安心して産み育てられる環境づくりです。

住みたくなるまちへ

公共交通機関 BRTバスの整備

みんなが利用できる、利用しやすいシステムにと、JR日田彦山線は来年(令和5年)の夏、運行開始を目指してJR九州を主体に、新しいBRTバス運行に向けた工事などが着々と進められています。添田町内では一般道を走り、停留所を住民の皆さんの近くにと数多く設置します。

添田駅と

旧彦山駅の周辺整備

添田駅は、利便性を最優先でホーム近くにフラットな乗り場や、車が近づけるロータリーを整備し、列車とBRTバスがスムーズに乗り降りできるように整備します。

彦山駅についても駅舎を地域の防災拠点やコミュニケーションの場となるよう新たに建設します。新しい彦山駅の柱は朱塗りを考えており彦彦山神宮のイメージ・趣を醸し出すものにします。ここを英



↑ 初登庁後、管理職職員へ4期目就任にあたり訓示を行う寺西町長

彦山神宮・豊前坊、そして隣の東峰村小石原地区の伝統工芸小石原焼との連携拠点として整備を行います。

駅前を始め、添田駅・彦山駅周辺整備も、これまで課題でした。地域住民の皆さんと「みんなでまちづくり」の観点で整備計画を作り、再整備を行っていきます。

道の駅「歓遊舎ひこさん」 を中心とする整備

道の駅「歓遊舎ひこさん」周辺を一大テーマパークとします。駐車場も道の駅内にあ

るもち工房の横と、旧JR歓遊舎ひこさん駅横の2か所に新設します。また、自然体験が出来る「フォレストアドベンチャー」を整備します。木々の間に設置した遊具を渡ったり、滑車で降りたりする自然共生型テーマパークです。駅舎は受付管理棟としてリニューアルし、大人から子どもまで、多くの皆さんに利用して貰います。

健康増進施設クアハウス「ハピネス」も再整備が必要です。併設のこともわくわくパークも安心して子どもが遊べる施設とします。道路を隔てた彦山川河川敷も河川公園として整備しています。

これらを含め、この一帯を活性化し、地域の皆さんも観光客も楽しく自然に親しめるテーマパークへ進化していきます。

2025年4月開校予定の 町立小・中学校の建設

小学校5校を統合し、現添田中学校の敷地に4階建ての町立小・中学校を建設します。建物は小・中学校一体のも

のですが、9年制の義務教育校ではなく、小学校6年・中学校3年の小中連携校です。学校環境を始め、子どもたちの成長段階での支援はこれからさらに必要になってくるものと考えます。国においても「子ども家庭庁」の創設が決まりました。

魅力を生かした 地域づくり

BRTバス彦山駅からは、これまでの線路敷きを整備し、BRT専用道としてバスが走ります。

その専用道が走る深倉地区



寺西明男／添田町長
昭和25年1月31日生。昭和49年福岡県庁入庁。自然環境課長、福岡県大阪事務所長を経て、平成19年4月添田町副町長に就任。平成22年8月、添田町長に当選し、現在4期目。福岡大法学部卒。72歳。

最新の情報入手して備える

台風の影響が考えられる場合や雨などにより重大な被害が発生する恐れがあるときには、気象庁から「台風情報」や「警報・注意報」が発表され、町からは避難情報が発令されます。防災ラジオや添田町公式LINE、テレビなどから最新の情報入手してください。



防災ラジオ

災害時の避難に関する情報や、町からの大事なお知らせを放送する防災ラジオ。台風の接近時には暴風による停電が頻発します。停電時にも作動するように、乾電池（単3電池3本）を準備してください。まだ防災ラジオを受け取っていない家庭は役場庁舎2階の防災情報管財課で随時配布していますので、ぜひ活用ください。



添田町LINE公式アカウント

災害時には避難に関する情報や避難所の開設状況などを配信する添田町LINE(ライン)公式アカウント。友達追加すると、災害情報に加え新型コロナウイルス感染症などの情報が自動で配信されます。まだ友達追加をしていない人は、次の二次元コードから友達追加をお願いします。



※友達追加にはLINEのアプリをダウンロードしている必要があります。

遅れずに行動して命をまもる

「警戒レベル4 避難指示」で危険な場所にいる人は避難です

高齢や障がいのある人など避難に時間のかかる人やその支援者は「警戒レベル3」で避難してください。急激な水位上昇のおそれがある河川沿いや土砂災害特別警戒区域にお住まいの人も、準備が整い次第、この段階で避難してください。それ以外の人は普段の行動を見合わせるなど、いつでも避難できるように準備をしましょう。危険を感じたら自主的に避難をすることが大事です。

浸水想定が浅いなど自宅にとどまれる人は

自宅の浸水しない安全な場所ですごしましょう。山際にお住いの場合は、自宅の山側から離れた、2階などですごしましょう。

警戒レベル	避難等の住民がとるべき行動	避難情報等
警戒レベル5	命を守る行動をとりましょう	緊急安全確保 【町が発令】
— < 警戒レベル4までに必ず避難 > —		
警戒レベル4 全員避難	危険な場所から速やかに避難しましょう	避難指示 【町が発令】
警戒レベル3 高齢者等は避難	高齢者やその支援者などは避難しましょう	高齢者等避難 【町が発令】

浸水想定が深いなど自宅にとどまれない人は

町が開設する避難所へ避難しましょう。また、ホテルや親戚宅・友人宅などに避難する「縁故避難」も有効です。

外に出てはいけません

とにかく外は危険がいっぱいです

台風接近時は大雨と暴風で危険な状態。周辺の道路などが冠水している可能性もあります。

令和元年の台風19号で犠牲

になった人は、半数以上が屋外で被害にあっていました。浸水した場所では車の移動も大変危険です。また、土砂災害の危険性も高まりますので、外出は避けましょう。



町が指定する避難所に避難したときは

避難所は3密の状況になりやすい環境です

避難所は3密の状況になりやすい環境で、感染症のリスクが高い環境での生活になります。消毒液による手指消毒の実施や避難者同士の距離の確保など町でも感染防止対策は行いますが、避難の際は基本的な感染対策の徹底をお願いします。

新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者が避難する時は

- ・新型コロナウイルス陽性の人は、保健所の指示に従ってください。
- ・濃厚接触者、発熱者は、避難する前に役場防災情報管財課まで問い合わせください。避難所や避難に関する注意事項を説明します。

固 役場防災情報管財課防災安全係 (☎82-4002)

事前の準備で命をまもる

台風に備える

10月までに多く発生する台風は、日本に接近・上陸すると大雨、洪水、暴風などをもたらし、川の氾濫やがけ崩れ、地すべりなどが発生しやすくなります。最近では暴風を伴う短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨が頻発し、川の急激な増水や、大雨・強風による倒木に起因するがけ崩れなどが発生し、日常生活や生命が脅かされるような自然災害が度々発生しています。

ハザードマップなどで自宅周辺の危険性や避難行動を確認して、今できる備えを進めましょう。

ハザードマップを確認して備える

豪雨や土砂災害で被災した人の7割以上がハザードマップで危険性が指摘された場所に留まっていたことが分かっています。添田町総合防災ハザードマップでは、想定される最大規模の降雨による浸水範囲・深さに加え、避難所などの情報を掲載しています。家の周りや近所の危険箇所などを事前に把握し、早めにリスクの対策をしておくことが大切です。



ハザードマップは町ホームページから確認できますが、過去に災害が迫るとアクセスが集中して、町ホームページが閲覧しにくくなったことも。ハザードマップがない家庭は、役場防災情報管財課（庁舎2階⑭番窓口）で無料配布していますので、ご利用ください。

家の外を備える

側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。

風で飛ばされそうな物干し竿や植木、自転車などは飛ばないように固定したり、家の中に入れておきましょう。

家の中を備える

避難時の持ち物を準備、確認しましょう

- 非常食（缶詰など長期保存できるもの）
- 飲料水（1人3リットル×3日分）
- マスク 消毒液 体温計
- 懐中電灯 救急薬品 簡易トイレ 携帯ラジオ 電池
- お金（特に小銭） 軍手 ライター 雨具 缶切り
- ウェットティッシュ 携帯電話 モバイルバッテリー など



※ここに書いてあるものは一例です。携帯電話やモバイルバッテリーは充電も忘れずに！電池などを使うタイプの充電器を用意しておくとう安心です！

家族で話して備える

「いつ」「どこに」「どうやって」避難するのか、家族で話し合いましょう。安全な避難経路、また家族が離れてしまった場合の集合場所や安否確認の方法も決めておきましょう。



雨戸を閉めましょう

雨戸がない窓は、飛散防止シートや養生テープを貼り、カーテンを引きましょう。窓にガムテープを貼った場合、剥がす時に大変なので、ご注意ください。



まだ持っていない人は早めの申請を

マイナンバーカードの普及促進を進めています

安心・安全で利便性の高いデジタル社会の実現、公平で効率的な行政運営を目指しその基盤となるマイナンバーカードの普及促進を進めています。今後、地域の公民館などでの出張申請支援などを行う予定ですが、まだ申請していない人は、早めの申請をお願いします。

●**役場職員がカード申請をお手伝いします**
マイナンバーカードの申請方法が分からない場合、申請に必要な写真撮影などの補助を、役場職員が行います。窓口が混んでいる場合はお待たせする時がありますので、必ず事前に電話で予約をお願いします。

▷**申請に必要なもの** 運転免許証などの本人確認書類

※顔写真のついた運転免許証などは1点での確認が可能ですが、顔写真のない健康保険証や年金手帳などは2点必要となります。※必ず申請する本人が来庁してください。

☎ 役場住民課戸籍住民係 (☎ 82-1233)

積極的な接種勧奨が再開されました

子宮頸がん(HPV)ワクチン接種

子宮頸がん(HPV)ワクチンの接種を個別にお勧めする取組が差し控えられていた平成25年から令和3年までの間で定期接種対象であったにもかかわらず、ワクチン接種の機会を逃した人に、公平な接種機会を確保する観点から、あらためて接種の機会を提供します。

●**対象者**

▷次の2つの条件を満たす人

①平成9年4月2日から平成17年4月1日の間に生まれた女性

②過去に子宮頸がんワクチンの接種を合計3回受けていないこと

※子宮頸がん(HPV)ワクチンは合計3回接種します。過去に1回接種したことがある人は残り2回、2回接種したことがある人は残り1回、公費で接種を受けることができます。過去に接種したワクチンの種類や接種時期などの情報は、母子健康手帳や予防接種済証などで確認ください。

●**接種可能な時期**

上記の対象者は、令和4年4月～令和7年3月の3年間、公費で接種できます。3回の接種を完了するまでに十分な期間が設けられていますが、希望する人は、なるべく早く接種しましょう。

●**接種方法**

▷接種場所：福岡県内の契約医療機関

▷接種に必要なもの：マイナンバーカードや健康保険証などの身分証明書、予診票(契約医療機関や添田町の窓口にも備え付けています)

※過去の接種記録が分かるよう、できるだけ母子手帳もお持ちください。

☎ 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎ 88-8111)

※平成9年度生まれ～平成16年度生まれの女性で、定期接種の対象年齢を過ぎて(高校2年生相当以降)子宮頸がん(HPV)ワクチン(サーバリックス®、ガーダシル®)を国内で自費で受けた人は、かかった費用のうち規定の額を払い戻すことができます。詳しくは役場保健福祉環境課健康対策係へお問い合わせください。



令和3年度に支給を受けた世帯は対象外です

住民税非課税世帯に対する臨時特例給付金

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した人が、速やかに生活・暮らしの支援が受けられるよう、住民税非課税世帯に対し、臨時的な措置として1世帯当たり10万円を支給しています。対象となる世帯には8月に「確認書」を送付しています。「確認書」が届いたら内容を確認し、必要事項を記入の上、役場まで返送ください。



↑役場から送付した「確認書」は【臨時特例給付金確認書在中】と朱書きしています

期限内(10月31日)に返送の確認が取れない場合、給付を辞退したとみなされますので、忘れずに手続きをお願いします。また、これまでに本給付金を受給された世帯に、再度給付金は支給されませんので、ご注意ください。

●**支給額** 1世帯あたり10万円

●**支給対象者** 令和4年度住民税非課税世帯(令和3年12月10日時点でいずれかの市町村の住民基本台帳に記録され、かつ令和4年6月1日時点で添田町の住民基本台帳に記録されており、世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯)

※町が「確認書」を送付した世帯は、令和4年度に新たに住民税が非課税となった世帯で、これまでに本給付金を受給したことがない世帯です。8月以降に令和3年中の収入について確定申告や町民税の申告をすることで住民税非課税世帯となった場合は役場まちづくり課まちづくり推進係まで申し出ください。

☎ ▶制度についてのお問い合わせ

内閣府コールセンター(☎0120-526-145)(受付時間:土日祝日を含む午前9時～午後8時)

▶申請、支給についてのお問い合わせ

役場まちづくり課まちづくり推進係 (☎82-5965)

現在14名の女性が登録、活躍中です

添田町女性活躍推進バンク登録者募集中です

町では令和4年度から5か年を計画期間とした「第3次添田町男女共同参画基本計画」を策定し、男女が共に活躍できる環境づくりを進めています。その施策のひとつとして、女性の活躍の場を広げ、女性ならではの新しい視点や感性を活かし女性の町政への参画を積極的に進め、その意見を反映させることを目的として、女性活躍推進バンクを設置しています。女性活躍推進バンクに登録すると、町の各種審議会や協議会など、委員の候補になります。ぜひ、あなたの持つ知識や経験を活かして、町政に参画してみませんか。



【登録要件】

●**対象** 高校生を除く町内在住・在勤の18歳以上の女性

●**分野** まちづくり、子育て、福祉、環境、行政運営など

●**申込方法・申込先** 総務課男女共同参画推進係で配布している申込書に必要な事項を記入し、申し込みください。なお、申込書は町ホームページからもダウンロードできます。

☎ 役場総務課男女共同参画推進係 (☎ 82-1231)

女性活躍推進バンクに登録し協議会などで活躍中の女性を紹介します



田中美津子さん

女性活躍推進バンク登録後、政治倫理審査会委員として会議に参加し、公正で開かれた町政の実現に資する重要な会議であると感じています。貴重な経験をさせていただき、今後の女性活躍の一助となればと願っています。



重松美津子さん

女性活躍推進バンク登録後、公民館運営審議会委員として会議に参加しています。地域の人々にとって利用しやすい憩いの場、人との交流の場となり、誰もが行きたくするような公民館運営を目指しています。

自慢の商品を出品してみませんか

歓遊舎ひこさん 新規出品者を募集します

道の駅歓遊舎ひこさんに、あなたの商品を出品してみませんか。令和4年度後期出品者の募集を行います。

●**応募資格** 町内在住者・町内事業者

●**受付期間** 10月1日(土)～31日(日)



※新規出品希望者には、後日説明会を行います。手続きの受付時間は9時から17時までです。

▶受付・問い合わせ 道の駅歓遊舎ひこさん(☎ 47-7039)



↓「調べ学習体験講座」で百科事典を引く児童 ↓アイロンビーズ製作に熱中する児童



↑清水十六子先生を中心に自由花教室に参加した児童たち。コーヒークップにきれいな花を生けました

たくさん遊び、学んだ夏休み 町立図書館、児童館でイベント

7月21日からの夏休み期間、町立図書館、児童館で児童生徒を対象とした様々なイベントが開かれました。図書館では7月、8月に1回ずつ「調べ学習体験講座」が開かれました。物事を調べる時にスマートフォンを使うことが多い中、子どもたちが百科事典を使い、活字を読みワークを解いていきます。自分たちで調べ、まとめた事は館内の「ものしりの木」に展示していますので、ご覧ください。児童館では、みんな大好き「アイロンビーズ」製作や、大和池坊の清水十六子先生を講師に迎えた「自由花教室」、「卓球教室」、「ビーズアークセサリー」製作などが開かれました。

音楽の響きに200人が大興奮 オークホール音楽祭

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2年間開催されなかったオークホール音楽祭。今年は感染拡大防止対策をとり、添田中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けました。音楽祭は2部構成となっていて、1部では2台ピアノによる演奏やカナリア婦人会の合唱、2部では添田コールフラワーによる合唱、famやBeatsによるバンド演奏の後にエンディングで釜本卓年さん作詞・作曲の「そえた」をメモリアルコーラスの皆さんが合唱。どのグループも、聞く人を選ばない幅広い年代に支持された名曲を演奏。3年ぶりの音楽祭に拍手の嵐が起きていました。

↓オープニングで「ブルー・スプリング」や「群青」を演奏する添田中学校吹奏楽部員



↑2台ピアノによる演奏に観客は聞き入っていました ↑カナリア婦人会の合唱に開場は大盛り上がり

英彦山にある数々の庭園を楽しむ 英彦山庭園の魅力

8月28日、通常は入ることのできない旧座主院御本坊庭園などを見学できる「英彦山庭園の魅力」が開催されました。県文化振興課、正田実知彦さんの講演



↑旧座主院御下屋庭園で石の配置の説明を聞く参加者たち

「庭園の見方・楽しみ方」を聞いた後、説明を受けながら庭園を見学。参加者は「一見、乱雑に配置されている石も計算の上置かれていることに驚いた」と話していました。

経済的な側面からつくる「楽しい暮らし」 添田町男女共同参画推進セミナー

「マネープラン講座」がファイナンシャルプランナーの内木場豊さんを講師にオークホールで開かれました。内木場さんは、資産運用の効果で家族の絆がよ



↑家計が変われば、家庭そして地域が変わると話す内木場さん

り深まることを期待して、「固定費の見直しなど家計の支出を見える化し予算を決めることで、削減したお金を貯めながら増やしながら使うと効果的」と話していました。

相撲で全国大会、バドミントンで福岡県大会出場。部活を頑張る中学生を応援 添田中学校相撲部、バドミントン部

↓表敬訪問で町長室を訪れた福田さん、バドミントン部員、顧問の先生方と中野校長。前列左はバドミントン部キャプテン井上さん、前列右は全国大会出場を決めた相撲部の福田さん



←全国大会会場で福田さん(左)と有本先生(右)



↑北海道福島町総合体育館で行われた全国中学校相撲選手権大会で戦う福田さん(左)。決勝トーナメント進出は叶いませんでしたが見事1勝をあげました

8月5日、福岡県大会で3位を獲得し第52回全国相撲中学校選手権大会への出場を果たした添田中学校相撲部の福田優聖さん(3年)と、筑豊地区大会で団体3位、ダブルス【井上陽路里さん(3年)・浜地連心さん(3年)ペア】4位を獲得し、第43回福岡県中学校バドミントン大会出場を果たした添田中学校バドミントン部が寺西町長を表敬訪問しました。寺西町長は生徒

たちに「添田を背負って精一杯頑張ってください」と激励。全国大会を前に「1つでも多く勝ちたい。負けても楽しみたい」と話していた福田さんは、北海道で行われた大会で見事1勝をあげました。バドミントン部は県大会で団体が1回戦、ダブルスは2回戦で惜敗しましたが、キャプテンの井上さんは「県は上手い選手が多く緊張しましたが、楽しくプレーできました」と話していました。

子どもの自己肯定感を上げるには 添田町子育て支援センター講演会

7月29日、町立児童館で「子育て上手は生き方上手」と題した講演会が、カラー&心理カウンセラーの梶屋玲子先生を講師に行われました。先生は「子育て



↑参加者からは保育園入園に関する質問などもありました

は長い人生から見たら一瞬。小さな子はしっかり寝かせ、食べさせ、遊ばせて。親が子どもにたくさん関わることで子どもの自己肯定感が上がる」と話していました。

火災発生時に適確な対処を行うために 添田町消防団資機材操法訓練

添田町消防団では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からポンプ操法大会など大規模な訓練を2年間行っており、その間に消防団に入った団員の



↑小型ポンプの操作方法を熱心に聞く団員たち

消防資機材の取扱技術向上を目的に、新入団員を対象とした訓練を行いました。参加した団員は、小型ポンプの操作手順や無線機の操作・通信方法を身に付けました。

10月 生まれのお子さん **大募集** 中!

投稿お待ちしています! みんなの笑顔が見たいひこー!!

お誕生日コーナーの対象年齢を拡大しています

未就学児のお子さんの写真を募集中です

10月生まれは、9月15日困までに投稿ください!

- ①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方
 - ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内)
 - ⑧保護者の連絡先を下記アドレスまで送信してください。
- 役場総務課窓口でも受け付けています。

送信先 koho@town.soeda.fukuoka.jp

☎ 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-4000)



まちかど特派員投稿 **35年かけて咲いた幻の黄色い花!!**

田中妙子さん(栲田)からの投稿です



↑一度折れても生命力は抜群で、存在感のある黄色の花をつけました

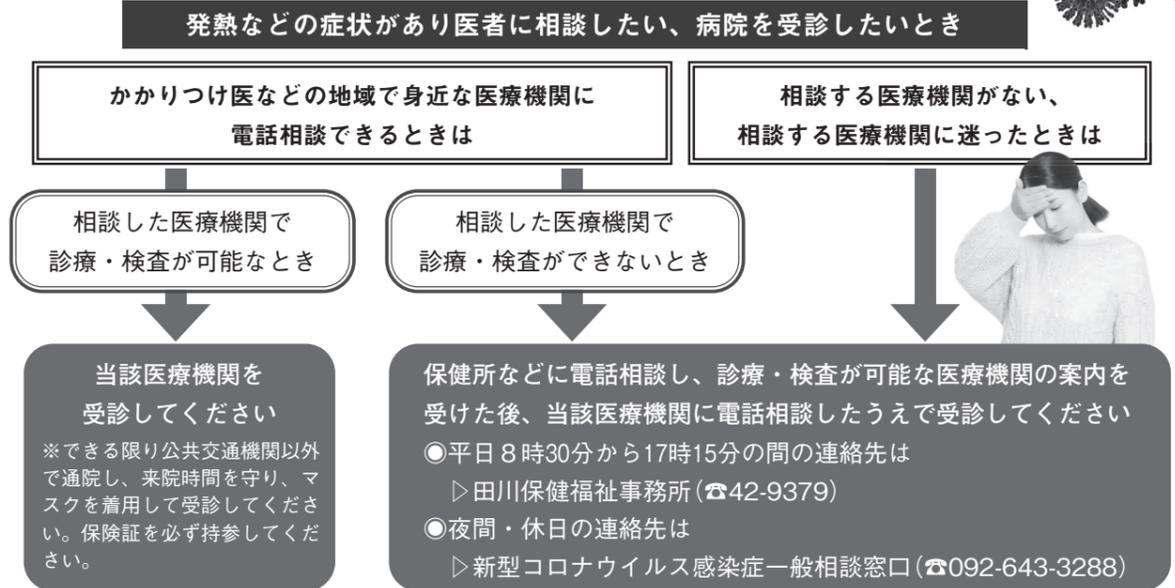
田中妙子さんの自宅で、数十年に1度しか咲かない「センチュリープラント(世紀の植物)」と言われるリュウゼツラン(竜舌蘭)が黄色の花を咲かせました。リュウゼツランはメキシコ原産で数十年という長い年月をかけて開花する珍しい植物です。田中さんによるとこのリュウゼツランは家を建てた35年程前に、今は亡きご主人が庭に植えたそうです。6月頃から茎が急に伸び始め、7月中旬には4mを超える高さになりました。7月下旬に暴風の影響で折れてしまいましたが、近所の人たちと折れた箇所を修復。8月に入ると植栽から35年をかけ、黄色の花が無事に咲きました。



↑折れる前のリュウゼツラン。1か月でこの高さに

新型コロナウイルスによる感染が拡大しています

発熱などの症状があり受診するときは受診前に必ず電話相談を



■添田町コロナワクチン接種状況 (令和4年8月23日時点のVRS登録状況から抜粋)

対象人口	接種状況 ※ ()内は接種率				
	1回目終了	2回目終了	3回目終了	4回目終了	
65歳以上	4,054人	3,826人(94.4%)	3,812人(94.0%)	3,640人(89.8%)	*1 1,963人
12歳(18歳)~64歳	4,606人	3,760人(81.6%)	3,730人(81.0%)	2,727人(59.2%)	*2 89人
計	8,660人	7,586人(87.6%)	7,542人(87.1%)	6,367人(73.5%)	2,052人
5歳~11歳	430人	103人(24.0%)	95人(22.1%)	-	-
合計	9,090人	7,689人(84.6%)	7,637人(84.0%)	6,367人(73.5%)	2,052人

※1 60歳以上の接種人数 ※2 18歳から59歳の接種人数

文芸歳時記



【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

こだはりの鼻緒の色の杉の下駄

吾一人なる玄閑華やぐ 五十嵐田鶴

ウクライナのテレビ映像に胸痛む 荒巻ミサ子

沖繩戦に父は帰らず 福富 廣枝

木洩れ日にゆるる白百合は数十年 大塚 富江

寸分狂はず咲く終戦日 福富 廣枝

カラコロと音に歩けば夜の田の 蛙の合唱ハタと止みたり

【短歌 投稿】

どろどろの憎悪まみれの泥の世を 独活山強実

けなげに生きる人のありけり 佐藤 直

逝きし父母きつと驚く令和では 櫻木マサ子

マスク時代とロシアの乱に 柳瀬 一徳

金色の田んぼの畔に彼岸花 伊勢村 稔

揺れて揺られてあの人思う 寺本 紀子

【俳句 投稿】

奇岩立つ天狗杉の秀秋高し 島津余史衣

風鈴や負けじと鳴きつ蟬の歌 伊井寸美子

採られし痰の一斗超えたる大暑かな 斎藤智寿子

幼児の水をけちらす真つ裸 山本 仁恵

夏萩やゆれて川風呼ぶ館 立花 克明

南部風鈴柵の思ひ出連れて来る 柳瀬 満子

年齢の歩み止めたる更衣 原田 順子

遠き夏見に乳あげし蚊帳のあり 原田 祥二郎

【川柳 投稿】

ご時世は非常と非情の世界かな

仲良しも恋も平和も笑顔から

●10月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

9月15日困までに役場総務課に投稿してください。

1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

☎ 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-4000)

試験

自衛官等採用試験

- ▼【防衛大学校一般（1次）】
- ▼試験日 11月5日（土）・6日（日）
- ▼受付締切 10月26日（日）
- ▼【防衛医大医学科学生（1次）】
- ▼試験日 10月22日（土）
- ▼受付締切 10月12日（日）
- ▼【防衛医大看護学科学科学生（1次）】
- ▼試験日 10月15日（土）
- ▼受付締切 10月5日（日）

※試験会場は未定です。詳しくは問い合わせください。
 ※自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所では、説明会を随時行っています。ご都合に合わせて個別説明や出張説明も可能です。気軽に問い合わせください。

▼自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所
 ☎0948-22-4847

田川看護高等専修学校 試験・オープンキャンパス

准看護師を養成する田川看護高等専修学校では、学生募集とオープンキャンパス（学校見学会）を行います。



▼相談電話番号 0120-567-301（フリーダイヤル）
 福岡県青年司法書士協議会
 ☎092-324-0162

職場のハラスメント 集中相談会

パワハラ・セクハラ・マタハラなどの集中相談会を開催します。相談内容により、弁護士相談も連携します。秘密は厳守されますので、ひとりで悩まずに相談ください。

▼とき 9月27日（火）、28日（水）
 日とも9時～20時（受付は19時30分まで）
 ▼ところ 福岡県筑豊労働者支

【試験】

▼試験日 11月19日（土）
 ▼試験方法 学科（国語・理科）と面接
 ▼出願期間 11月7日（日）～16日（日）

▼募集人数 40人
 ▼受験資格 中学校卒業（見込）以上の者
 ▼受験料 2万円
 ▼願書料 千円

※願書を郵送希望の場合は、小為替千円と送料140円切手を同封し、学校に申し込んでください。
 ▼「オープンキャンパス」
 ▼とき 10月15日（土）10時～12時（受付9時30分）
 ▼内容 学校案内、入試説明、アンケートなど

▼援事務所（福岡県飯塚総合庁舎別館）
 ▼対象者 労働者、事業主
 ▼相談方法 電話または面談
 ▼料金 無料／予約優先

健康増進のための無料相談

▼とき 9月30日（土）10時～12時
 ▼要事前予約
 ▼ところ 添田人材開発センター
 ▼内容 生活習慣予防、健康づくりなど健康増進のための相談



相談

住宅に関する無料相談

▼とき 9月13日（火）10時～15時
 ▼ところ 田川市役所1階
 ▼内容 宅地・建物の取得、相続・贈与、税金に関すること、マイホームの新築・増改築の計画、高齢者住宅用リフォームに関する相談など

田川公証役場 「日曜無料相談所」

10月1日から7日までの1週間は「公証週間」です。もめない相続と安心の老後、子どもの健全な成長のために、公正証書を活用しましょう。

▼とき 10月2日（日）9時～15時
 ▼要事前予約
 ▼ところ 田川公証役場（田川市）
 ▼内容 相続や遺言、任意後見、養育費、各種契約など

田川公証役場
 ☎44-4130

困りごと無料巡回相談会

相談員が本人とその家族の困りごとをお聞きし、解決に向けて、必要な支援・手続きに繋ぐ相談支援を行います。生活全般子育てや家族の悩みがある人は気軽に相談ください。

▼とき 9月15日（日）10時30分～12時、13時～14時30分／要事前予約

福岡県弁護士会 「法の日週間」無料法律相談

毎年10月1日から7日までの1週間は「法の日週間」です。離婚や相続、労働問題などの身近な法律問題に弁護士が無料で相談に応じます。

▼とき 10月7日（土）13時～16時
 ▼ところ 飯塚法律相談センター（飯塚市）
 ▼定員 先着12人／要電話予約
 ▼受付 飯塚法律相談センターにて9月22日（日）9時から電話受け付け開始（定員になり次第締め切り）
 ※電話での相談はできません。

視覚障がい者相談会

▼とき 10月19日（日）13時30分～16時30分（受付13時）
 ▼ところ 赤村住民センター
 ▼対象者 身体障がい者手帳を所持している人で障がい名が視覚に関する記載がある人
 ▼内容 視覚障がいのある人を支援する制度の説明、普段の生活に関する悩みなど
 ※相談無料、事前予約不要
 福岡県保健福祉環境課子育て・障がい者支援係
 ☎82-1232

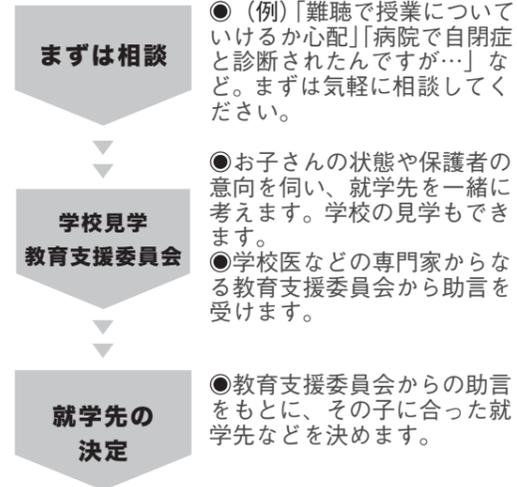
教育のひろば

●小学校入学に向けて 発達に心配がある、障がいがあるお子さんの 就学相談を受け付けています



就学相談とは、児童が言葉や身体などの発達の状態や能力に応じた適切な教育を受けられるように、小学校入学前に保護者の皆さんから受ける相談のことです。入学に向けての不安や心配なことを、一緒に考えていきましょう。

相談から就学までの流れ



●就学校の指定について

町の各小学校区は「添田町立小学校及び町立中学校の通学区域に関する規則」で定めています。就学指定校は1月頃に送付する入学通知書に記載していますので、確認ください。なお、やむを得ない事由があるときは就学校の変更が可能な場合があります。新入学児童の就学校の確認や、就学校の変更相談は役場教育委員会学校教育課まで連絡ください。



福岡県教育委員会学校教育課学校教育係 ☎82-5963

福岡県森林づくり活動公募事業



子どもたちがあそぶ・まなぶ・ふれあうことで「木」を体感できるイベントです。

- とき 10月8日（日）・9日（日） 10時～16時（9日は15時まで）
- ところ 添田町体育館
- 入場料 無料（参加費が必要なコーナーがあります）
- 内容

【森林保全や木育の展示】森林の大切さや豪雨災害で発生した流木はどうなったのかななどを解説したパネルを展示

【木もくランド】地域材を利用したシーソー台・ブランコ・ジャングルジム・巨大ピタゴラ装置・かんたん迷路などを設置した木のテーマパーク

【ワークショップ】クラフト工作体験
 【体験活動】マイ箸づくり、丸太切り、楽器づくり

【木を使った作品の実演】チェーンソーを使って丸太が動物に化身 ※9日のみ
 ▶その他、木もく体操、飲食ブース、アコーディオン生演奏、日田の木工作品展示・販売などを行います。皆さんのご来場お待ちしております。

福岡県NPO法人アートもん ☎090-5733-5997

募集

手話奉仕員養成講座
(基礎編)受講者募集

▼とき 10月5日(金)〜令和5年1月19日(木)の毎週(金)・(土)19時〜20時30分(全25回)
▼ところ 川崎町コミュニティセンター
▼応募資格 ①町内在住者または在職者②過去に入門編の修了証書を授与している人③入門編受講修了者と同等の知識および経験
があることを認められる人
▼定員 20人/先着順
▼申込先 役場保健福祉環境課
役場保健福祉環境課子育て・障がい者支援係
(☎82-1232)



危険物取扱者保安講習

▼とき 10月17日(日)、18日(月)日とも9時30分〜12時30分、13時30分〜16時30分
▼ところ 田川青少年文化ホール(田川市)
▼対象者 ▼継続して危険物取扱作業に従事している人II前回の講習を受けた日以後の最

就業構造基本調査が始まります

総務省統計局では、10月1日現在で就業構造基本調査を実施します。この調査は、日本の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的とした、国の重要な統計調査です。9月下旬から調査員が調査をお願いする世帯に伺い、調査書類をお配りします。より便利に回答いただくため、スマートフォンやパソコンを使って、簡単に回答することができます。回答にご協力をお願いします。
役場まちづくり課まちづくり推進係 (☎82-5965)

一人ひとりの注意が大切です
【田川地区消防本部】令和4年上半期火災・救急・救助統計



田川地区消防本部管内の令和4年上半期(1月〜6月)の火災・救急・救助の概要をお知らせします。

【火災】火災件数は、73件で昨年より46件増加しています。すでに昨年1年間の発生件数51件を大きく上回っている状況です。出火原因は、たき火が23件、放火(疑いを含む)が8件です。ちょっとした不注意が原因となっていますので、火気の取り扱いには十分注意しましょう。

【救急】救急出動件数は3,715件で、搬送した人は3,292人でした。昨年よりも342件、322人増加しています。5台の救急車がすべて出動することもありますので、緊急時に救急車が利用できるよう、適正な利用にご協力をお願いします。

【救助】救助出動件数は73件で、そのうち救急活動を行った件数は38件、救助した人数は29人でした。

▷新型コロナウイルス感染症の終息がまだに見えません。自分や家族など大切な人を守るため、マスク着用や手指消毒、手洗いの徹底をお願いします。また、熱中症や水難事故にも十分注意いただくとともに豪雨など災害への備えも忘れずにお願いします。

田川地区消防本部 (☎44-0650)

初めの4月1日から3年以内
▽新たにまたは再び危険物取扱作業に従事することになった人II従事することになった日から1年以内
▼受付方法 郵送のみ(〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-15 ふくおか石油会館3階 公益社団法人福岡県危険物安全協会)
※簡易書留で送付してください。
▼受付期間 9月14日(金)〜10月5日(金)(当日消印有効)
※定員に達した場合、期間中でも受け付けを締め切ります。
▼申請書配布場所 田川地区消防本部内(一社) 田川地区防

災協会事務局
※詳しくは問い合わせください。
(☎44-6256)
公共職業訓練生(11月生)を募集します
離職などで再就職を希望する人を対象に、専門知識や技能を学ぶ6か月間の訓練です。
▼訓練期間 11月1日(日)〜令和5年4月24日(日)
▼訓練科名 住環境コーディネーター科/定員12人
▼対象者 公共職業安定所(ハローワーク)に求職を申込みしている人

▼受講料 無料(教科書・作業着などは自己負担)
▼募集期限 10月6日(日)
▼入所選考 10月13日(日)/筆記および面接
(☎0948-22-4988)

お知らせ

景観計画住民アンケートを実施します
町では、魅力ある景観を守り、後世に引き継ぐため、景観計画の策定に取り組んでいます。今回、町の景観に関するアンケート

ありがとうございます(敬称略)
ありがとうございました
(敬称略)
○添田町社会福祉協議会へ
▼香典返し ▼(株)上田十郎(下中元寺) ▼(株)宮田孝男(野田) ▼(株)小川浩一(町二) ▼(株)宮崎力ナエ(添寿園)
(令和4年8月16日現在)

生ごみ処理機器等購入助成

町では、家庭から排出される生ごみの減量化を促進させるため、生ごみ処理機器(コンポスト容器・機械式など)を購入しようとする世帯に対して費用の一部を助成しています。助成には要件があります。申請方法など詳しくは問い合わせください。なお、補助金には限りがあります。なくなり次第受付終了となりますので、ご注意ください。
役場保健福祉環境課環境係 (☎82-1232)



戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定

厚生労働省では、先の大戦によって海外や沖縄県、硫黄島などで亡くなられた戦没者のご遺骨の身元を特定して、ご遺族のもとへお返しするため、DNA鑑定を実施しています。鑑定には申請が必要ですが、鑑定料は国が全額負担します。申請についてお悩みの人や戦没地が不明な人もまずは相談ください。
(☎03-3595-2219)

イベント中止のお知らせ

例年、10月開催の「地区公民館対抗球技大会」と「ふる里ま

長い間、お疲れさまでした 藤田季弘副町長が退任しました



平成25年4月から教育長、平成29年6月から副町長に就任した藤田季弘副町長が、7月31日をもって退任しましたのでお知らせします。

人の動き

7月末日現在()は前月比

- 人口 8,905人 (-15人) ●出生 3人
●男性 4,188人 (-11人) ●死亡 9人
●女性 4,717人 (-4人) ●転入 9人
●世帯数 4,537世帯 (-6世帯) ●転出 18人

相談

- 心配ごと相談 (そえだジョイ/10時〜15時) 9月20日(日)、10月4日(日)
●補聴器相談 (役場ロビー) 9月14日(日) (13時〜)、10月14日(日) (15時〜)
●無料法律相談会 (福岡法務局田川支局/13時〜16時) 9月13日(日)、10月11日(日)
※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
●法テラス福岡 (☎050-3383-5502)
●こころの健康相談 (田川保健福祉事務所/予約制) 9月13日(日) (10時〜)、9月22日(日) (14時〜)
●田川保健福祉事務所健康増進課 (☎42-9307)
●女性の健康相談・不妊相談 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所/予約制) 10月5日(日) (13時30分〜16時30分)
●福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係 (☎0948-29-0277)

警察署からのお知らせ

●クロスボウを所持している人へ
銃砲刀剣類所持等取締法の改正により、クロスボウの所持が原則禁止になり、許可制が導入されました。許可申請や廃棄などの措置をとらずに9月15日以降もクロスボウを所持し続けた場合は、不法所持となります。現在所持しているクロスボウは、廃棄依頼をしていただければ無償で引き取りますので、田川警察署生活安全課に連絡してください。

Table with 3 columns: 種類, 発生件数, 今年の累計. Rows include 物件事故, 人身事故, 死亡者, 負傷者.

田川警察署 (☎42-0110)

納期限のお知らせ

- 9月30日(金)が納期限です
▷固定資産税(3期)
▷国民健康保険税(3期)
▷後期高齢者医療保険料(3期)
口座振替は9月26日(日)です
●役場住民課税務・滞納対策係 (☎82-1234)



日田彦山線BRT
ひこぼしライン
HIKOBOSHI LINE

BRTひこぼしライン 導入車両・デザインが決定

令和5年夏開業予定の日田彦山線BRTひこぼしライン。

「電気バス」を含む計6台の車両を導入することがJR九州から発表されました。BRTひこぼしラインが目指す“やさしい交通機関”として導入車両すべてに低床のノンステップバスが採用され、電気バスは沿線の豊かな自然環境を守るだけでなく、災害時の非常用電源としての活用など地域への貢献が期待されます。



車両デザイン

▶外装デザイン “おりひめの羽衣”をイメージしており、色とりどりにきらめく地域の魅力を6色で表現しています。



導入車両

▶小型電気バス 4台（定員25名、座席17席）
▶中型ディーゼルバス 2台（定員56名、座席28席）
※定員数、座席数は予定です。

しゃくなげカラー



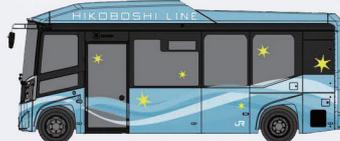
添田町の町花「しゃくなげ」をイメージ

棚田カラー



東峰村の「棚田」をイメージ

水郷カラー



日田市の「水郷」をイメージ

やまなみカラー



英彦山の「やまなみ」をイメージ

ゆずカラー



東峰村の特産品「ゆず」をイメージ

あやめカラー



日田市の花「あやめ」をイメージ

▶内装デザイン “ひこぼし”を散りばめたオリジナルデザインのシートモケットを外装と同じ6色用意し、バスデザイン全体としての統一感を持たせます。



バス車内は、床材に明るくぬくもりある木目調を起用し、乗ることの楽しさやわくわく感を創出します。

※車両デザインはイメージです。今後変更となる場合があります。
 関 役場まちづくり課まちづくり推進係 (☎ 82-5965)

●防災無線放送内容確認サービス (☎ 88-8555) 火災については、☎ 42-0119 におかけください。

◇発行/添田町 ◇編集/総務課
 〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
 ☎ 0947-82-1231 FAX0947-82-2869
 ホームページ http://www.town.soeda.fukuoka.jp

◇印刷/丸五印刷株式会社
 ※広報そえだは再生紙を使用しています